

平成 28 年度 留萌地区の巻

事務局 小平町立小平小学校



映画の 1 シーンにもなった増毛線も廃線に…

留萌管内小中学校長会は、管内の 28 校（小学校 15 校，中学校 11 校，併置校 2 校）の校長で組織している。今年度は、新採用の校長 3 名を迎えて 4 月 13 日に総会を開催し、新たな体制での活動をスタートした。

I 本年度の活動方針

次期学習指導要領の改訂に向けた作業が進む中、教育課程の編成に責任をもつ校長は、自校の子どもたちが将来をたくましく、しなやかに生き抜くことができる力を身に付けさせるため、これから先の時代における社会の動向をとらえ、そこでの求められる教育の姿を見通すとともに、子どもたちが生きる地域の将来像も視野に入れながら、自校の教育課程を編成・実施し、的確な評価によってよりよい教育活動をつくり上げていくことに全精力を注がなくてはならない。

また、学力や体力の向上、いじめや不登校の防止に向けた取組。土曜授業や小中連携・一貫教育、小学校英語・道徳の教科化、さらには CS の導入など、様々な施策への適切な対応といった課題も山積している。

本校長会としても情報の収集を積極的に行い、会員相互の連携を図る中で、法令等を基盤に目指す学校像を実現するべく、各校長がリーダーシップを発揮して、課題解決の推進に努め、管内教育の充実を図る必要がある。

以上の考えに立ち、「自立と創造」と「共生と躍進」を 2 本柱とする「留萌教育のめざす姿」を着実に実現するために、校長会の役割と責任を確認し合い、連帯感を深め、管内教育の更なる発展に寄与していかなければならない。

我々の先輩が指針としてきた「和心一統」すなわち、個々の信念を堅持しながらも、親和の心をもって一つにまとまり真実を求めるという精神を今一度確認し、志を高く掲げ、明日を

生きる留萌管内の子どもたちをしっかりと育てていく覚悟を固め、次に示す活動方針の下に、適正な校長会運営に取り組んでいく。

- 1 校長の使命と責任を自覚し、自らの識見を高める研修の充実と情報の共有を図る。
- 2 会員相互の連携を密にして信頼関係を深め、組織の強化と活動の効率化を図る。
- 3 教育関係機関・団体及び地域社会との連携を強化し、諸問題の解決を図る。

II 活動の重点

1 教育改革を具現化する学校経営

- ①創意ある教育課程の編成、実施・評価・改善
- ②地域や保護者に開かれた学校経営の実現
- ③いじめや不登校等の生徒指導上の諸問題への対応
- ④児童生徒の安全確保の徹底と危機管理体制の強化
- ⑤教職員の適正な服務

2 研修活動の充実と効率的な環流

- ①留萌管内校長会教育研究協議会の開催
- ②留萌地区教育経営研究会の開催
- ③道小小樽大会、道中旭川大会、全連小高知大会、全日中宮城大会への参加
- ④新任校長研修会の開催

3 組織の強化と活動の効率化

- ①理事研修会の充実及び事務局と市町村校長会との連携
- ②事務局と各部及び市町村校長会との連携
- ③教育の諸課題に対する的確な情報提供と対応

- ④全道(国)校長会、管内教育関係機関・団体との連携

4 教職員の待遇改善

- ①管理職手当、給与体系の改善
- ②校長の退職手当及び職責に見合う退職時における処遇の充実
- ③再任用の拡大と再就職の促進

Ⅲ 各部の活動方針

1 研究部

- ①新研究テーマの設定による研究推進
 - ◎学校力を高めるために戦略的に思考するカリキュラム・マネジメントの推進～課題をとらえ、解決に導き、よりよい学校づくりを進める校長の在り方～
 - *本年度の研究協議会では、研究部が研究の基調提案を行い、その後、グループ協議を設定して研究内容や研究のポイントなどの理解と浸透を図る。
- ②本年度の道小小樽大会第4分科会での提言に向け、提言プロジェクト委員会において発表資料を作成する。
- ③研究集録第47号を発刊し、研究の成果と校長会の足跡を記録に残す。
- ④道小・道中研究部、各市町村研究部及び関係機関との連携強化に努める。
- ⑤留萌管内研究団体連絡協議会の事務局担当として、各種研究会の連絡調整に努める。

2 組織部

管内校長会の運営方針と活動の重点を受け、教育上の諸問題を解決するために、会員相互の意識の高揚と強化・福利厚生の実現に努め、管内教育の充実・発展に寄与する。

- ①管内校長会事務局との連携を密にしながら、基礎資料を整理・活用して、組織機能の効率化に努める。
- ②教育実践の効率を図るために、教育条件の整備や会員の福利厚生に関する実態把握に努める。
- ③教育関係諸団体との積極的な連携を図り、事

業への協力と充実に努める。

- ④組織・法制に関する研修に努め、学校における指導と管理の調和を図る。
- ⑤課題解決に向け、道小・道中・各機関との連携を密にして、迅速かつ適切な対応に努める。

3 広報部

管内校長会の運営方針並びに活動の重点を受けて、効果的な活動の推進及び会員相互の交流を図り、会員の意識の高揚と組織活動の強化に努める。

- ①会報「留萌」を年間4号発行し、会員間の情報交換・交流の活性化を図る。
- ③市町村校長会広報部や道小・道中情報部との連携推進に努める。
- ④広報活動の充実と管内校長会の取組や活動状況の啓発に努める。

Ⅳ 当面する課題

学校数の減少による校長数の減少と、これに伴う校長会組織の規模縮小という状況にあって、校長会組織や役員体制などの変更・改編を考えるべき時期が迫っており、その時期を見通した検討の機会をつくっていく必要がある。

会員数が減っても互いに切磋琢磨して会員が相互に高め合うとともに、力量向上を図るための取組や機会を今後はさらに工夫していくことが重要になる。

Ⅴ 役員

会 長	長谷川 敏之 (留萌小)
副 会 長	大水 隆司 (羽幌小)
監査委員長	笹森 文夫 (東光小)
監 査 委 員	里見 清孝 (古丹別小)
事 務 局 長	外山 一正 (留萌中)
事務局次長	東 公康 (小平小)
会 計	富田 正夫 (港南中)
研 究 部 長	小澤 洋一 (苫前中)
組 織 部 長	高谷 典義 (増毛小)
広 報 部 長	長谷川 博 (羽幌中)